



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 神戸電鉄株式会社

コード番号 9046 URL <https://www.shintetsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井波 洋

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部部長 (氏名) 坂本 義之 TEL 078-576-8671

半期報告書提出予定日 2024年11月12日 配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	10,965	0.4	1,289	11.4	1,082	17.4	783	3.8
2024年3月期中間期	10,924	5.7	1,157	21.9	922	24.3	754	28.2

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 718百万円 (△23.9%) 2024年3月期中間期 943百万円 (62.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	97.47	—
2024年3月期中間期	93.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	89,413	23,578	26.4
2024年3月期	90,451	22,942	25.4

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 23,578百万円 2024年3月期 22,942百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,640	△3.0	1,750	△5.9	1,240	△8.7	900	△12.1	112.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	8,061,566株	2024年3月期	8,061,566株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	27,751株	2024年3月期	26,871株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	8,034,370株	2024年3月期中間期	8,035,616株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載することとしています。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、景気が緩やかに拡大しているものの、円安傾向や不安定な国際情勢によりエネルギー価格及び原材料価格が高止まりする状況で推移しました。

この間、当社グループにおいては、各部門において増収やコストの削減に努めた結果、当中間連結会計期間の業績は次のとおりとなりました。

すなわち、営業収益は10,965百万円となり前年同期に比べ41百万円(0.4%)増加、営業利益は1,289百万円となり前年同期に比べ132百万円(11.4%)増加、経常利益は1,082百万円となり前年同期に比べ160百万円(17.4%)増加、親会社株主に帰属する中間純利益は783百万円となり前年同期に比べ29百万円(3.8%)増加しました。

当中間連結会計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。

運 輸 業

鉄道事業においては、「安全の絶対確保」を図るため、安全管理体制のさらなる整備・充実に取り組んだほか、国や自治体からの補助を活用しながら、軌道の強化等の工事を推し進め、運転保安度の一層の向上に努めました。また、有馬温泉駅においては、駅舎のリニューアル工事を、有馬口駅においては、ホームへの階段をスロープにするバリアフリー化工事を進めております。

営業活動については、有馬温泉への旅客誘致を図るため、「有馬・六甲周遊1 dayパス」や「有馬温泉 太閤の湯クーポン」等の企画乗車券を発売したほか、「おもてなしきっぷ」のご利用可能店舗の拡大を図るなど、当社沿線へのお出かけに便利な商品の企画・販売に努めました。

神戸市との連携事業である「神鉄沿線モヨウガエ」及び「KOBE Rail&Trail」では、地域との交流を通じた駅周辺の活性化や当社沿線の魅力発信に努めました。引き続き地域の皆様や沿線自治体と連携したプロジェクトを推進しながら鉄道の利用促進に取り組んでまいります。

バス事業においては、企業や学校の貸切送迎業務をはじめ積極的な営業活動を展開し、増収に努めました。

タクシー業においては、配車アプリの活用や乗務員の採用に注力するなど、収益の拡大に努めました。

これらの結果、当中間連結会計期間の運輸業の営業収益は6,482百万円となり、前年同期に比べ93百万円(1.4%)減少し、営業利益は751百万円となり、前年同期に比べ65百万円(9.5%)増加しました。

不 動 産 業

土地建物賃貸業においては、2023年10月に取得した新規物件(大阪府茨木市)が収益に寄与したほか、当社が保有する賃貸物件へのテナント誘致に努め、収益の拡大を図りました。

また、神戸市及び神戸市道路公社から管理運営業務を受託している「神戸市立三宮駐車場(神戸市中央区)」他5施設について、円滑な運営に努めました。

これらの結果、当中間連結会計期間の不動産業の営業収益は982百万円となり、前年同期に比べ29百万円(2.9%)減少し、営業利益は464百万円となり、前年同期に比べ34百万円(7.9%)増加しました。

流 通 業

食品スーパー業においては、青果部門を中心とした生鮮部門の品揃えを強化するなど、販売促進策を各店舗で積極的に展開しました。また、ご当地フェア等の集客策を実施するとともに、移動スーパー「とくし丸」については2024年7月から新たに4号車の運行を開始し、引き続き顧客開拓を精力的に行うなど、収益の拡大に努めました。

コンビニ業及び飲食業においては、各店舗で増収に努めました。

これらの結果、当中間連結会計期間の流通業の営業収益は2,653百万円となり、前年同期に比べ83百万円(3.2%)増加し、営業利益は59百万円となり、前年同期に比べ28百万円(90.3%)増加しました。

そ の 他

保育事業及び健康事業においては、駅に近接する各施設の強みを活かしてご利用者の増に努めました。

建設業においては、当社グループ外からの受注拡大に努めました。

これらの結果、当中間連結会計期間のその他の営業収益は1,453百万円となり、前年同期に比べ117百万円(8.8%)増加し、営業利益は0百万円(前年同期は営業損失4百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産は、有形固定資産が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ1,038百万円減少の89,413百万円となりました。

当中間連結会計期間末の負債は、買掛金及び借入金が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ1,674百万円増加の65,834百万円となりました。

当中間連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する中間純利益の計上に伴い、利益剰余金が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ636百万円増加の23,578百万円となり、自己資本比率は26.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月13日発表の業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,468	1,361
売掛金	1,333	1,293
短期貸付金	87	45
販売土地及び建物	230	230
商品	110	115
貯蔵品	447	506
その他	1,621	1,337
流動資産合計	5,299	4,890
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	39,807	39,066
機械装置及び運搬具(純額)	4,832	4,633
土地	35,019	35,222
建設仮勘定	106	231
その他(純額)	498	456
有形固定資産合計	80,264	79,610
無形固定資産		
その他	688	635
無形固定資産合計	688	635
投資その他の資産		
投資有価証券	1,579	1,625
長期貸付金	195	181
退職給付に係る資産	2,030	2,071
その他	409	415
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	4,197	4,276
固定資産合計	85,151	84,522
資産合計	90,451	89,413
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,446	838
短期借入金	17,803	16,772
未払法人税等	174	337
前受金	794	999
賞与引当金	53	61
その他	2,953	2,918
流動負債合計	24,226	21,927
固定負債		
長期借入金	37,079	37,834
繰延税金負債	593	621
再評価に係る繰延税金負債	3,461	3,461
退職給付に係る負債	105	107
長期末払金	539	402
長期預り保証金	927	926
その他	575	552
固定負債合計	43,282	43,906
負債合計	67,508	65,834

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,710	11,710
利益剰余金	8,697	9,400
自己株式	△95	△97
株主資本合計	20,313	21,013
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	642	604
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	1,480	1,480
退職給付に係る調整累計額	506	480
その他の包括利益累計額合計	2,629	2,564
純資産合計	22,942	23,578
負債純資産合計	90,451	89,413

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業収益	10,924	10,965
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	8,478	8,401
販売費及び一般管理費	1,288	1,274
営業費合計	9,767	9,676
営業利益	1,157	1,289
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	20	22
有価証券売却益	4	33
雑収入	40	46
営業外収益合計	66	103
営業外費用		
支払利息	283	293
雑支出	17	16
営業外費用合計	300	310
経常利益	922	1,082
特別利益		
固定資産交換差益	—	425
工事負担金等受入額	118	7
特別利益合計	118	432
特別損失		
工事負担金等圧縮額	118	432
特別損失合計	118	432
税金等調整前中間純利益	922	1,082
法人税、住民税及び事業税	146	257
法人税等調整額	21	41
法人税等合計	167	298
中間純利益	754	783
親会社株主に帰属する中間純利益	754	783

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	754	783
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	197	△38
繰延ヘッジ損益	△0	△0
退職給付に係る調整額	△8	△26
その他の包括利益合計	189	△64
中間包括利益	943	718
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	943	718
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

セグメント情報

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	運輸業	不動産業	流通業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	6,566	922	2,564	10,053	871	10,924	-	10,924
(2) セグメント間の内部営業収益 又は振替高	9	89	6	104	464	569	△569	-
計	6,575	1,011	2,570	10,158	1,336	11,494	△569	10,924
セグメント利益又は損失(△)	686	430	31	1,148	△4	1,143	13	1,157

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保育事業及び健康事業並びに建設業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額13百万円は、主にセグメント間取引であります。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	運輸業	不動産業	流通業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	6,473	891	2,647	10,012	953	10,965	-	10,965
(2) セグメント間の内部営業収益 又は振替高	9	91	5	106	500	606	△606	-
計	6,482	982	2,653	10,118	1,453	11,572	△606	10,965
セグメント利益	751	464	59	1,275	0	1,275	13	1,289

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保育事業及び健康事業並びに建設業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額13百万円は、主にセグメント間取引であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。